

「日アラブ協力に関する覚書（M O C）」署名式における岸田外
務大臣スピーチ

（2013 年 9 月 27 日， 於： ニューヨーク）

本日， エルアラビー・アラブ連盟事務総長と「日アラブ協力に関する覚書」に署名できることを喜ばしく思います。この覚書により， 日本にとり初となる全アラブ諸国を含む包括的な協力枠組みが設立されます。

2010 年末以降の中東情勢の激動の中， 地域を横断的に理解し， 安定化に向けてアラブ諸国と協力する必要性が高まっています。さらに， 日本は本年 1 月のアルジェリアのテロ事件を受け， 国際テロ対策強化， 地域安定化支援， イスラム・アラブ諸国との対話・人的交流推進の外交 3 本柱を掲げており， 本枠組みはこれを支える強力なインフラとなります。

本年 12 月に東京で開催される「第 3 回日アラブ経済フォーラム」に合わせて， 「日アラブ政治対話」の実施を希望します。その際， シリアや中東和平常の地域情勢に関し， 貴事務総長やアラブ諸国外相と突っ込んだ議論を行うと共に， アジア情勢に関する日本の立場や考え方を説明し理解を求める考えです。加えて， アラブ諸国との相互理解を深めるべく文化行事の実施準備も進めています。

今年に入り 2 度中東を訪問した安倍総理は， 「安定と繁栄に向けた包括的パートナーシップ」の下， 中東地域と経済のみならず， 政治・安全保障， 文化・人的交流を含む多層的な関係の構築を宣言し， 22 億ドル規模の地域安定化支援， 向こう 5 年で約 2 万人の人材育成支援を表明しました。私（大臣）も 7 月にイスラエル， パレスチナ， ヨルダンを訪問し， 中東地域との関係を重視しています。この覚書が日アラブ関係の一層の強化につながることを期待します。